

教科	科目	学年	単位数
地理歴史	日本史探究	2年	4
使用教科書		副教材	
日本史探究『詳説日本史』（山川出版社）		『図説日本史通覧』（帝国書院） 『日本史用語集』（山川出版社） 『日本史重要語句 Check List』（啓隆社）	

1. 学習到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指します。

※社会的事象の歴史的な見方・考え方に沿った5つの視点。

- ①「時期、年代、時代など時系列に関わる視点」
- ②「展開、変化、継続など諸事象の推移に関わる視点」
- ③「類似、差異、多様性、地域性など諸事象の比較に関わる視点」
- ④「背景、原因、結果、影響、関係性、相互依存性など事象相互のつながりに関わる視点」
- ⑤「現在とのつながり」

2. 評価

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在との繋がりに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

・年4回の定期テストでは、出題範囲に関する「知識・理解」「思考・判断・表現」の状況を評価します。

3. 科目の特徴

日本史探究とは、「歴史総合」の学習によって身に付けた資質・能力を基に、我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを考察し、よりよい社会の実現を視野に、歴史的経緯を踏まえて、現代の日本の課題を探究する科目です。

4. 学習内容

	月	章	節	学習内容とねらい
1 学 期	4	第1章 日本文化のあけぼの	1. 文化の始まり 2. 農耕社会の成立	・日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容を、自然環境の変化や大陸との影響に着目して理解、考察する。 ・水稻耕作の開始・金属器の伝来が弥生文化の社会に与えた影響を理解し、弥生土器などの出土品から得られる情報を収集して読み取る技能を身につける。
	5	●歴史資料と原始・古代の 展望	1. 古代社会と海外との交流 2. 木簡から古代国家を探る	・中国の歴史書の記事をもとに、資料から歴史に関わる情報を収集して読み取る技能を身につける。 ・木簡の記録をもとに、資料から歴史に関わる情報を収集して読み取る技能を身につける。
	6	第2章 古墳とヤマト政権	1. 古墳文化の展開 2. 飛鳥の朝廷	・国家の形成と古墳文化について、中国大陆・朝鮮半島との関係に着目して、小国の形成過程や古墳の特色を理解、考察する。 ・推古天皇・厩戸王・蘇我馬子による政権運営や飛鳥文化の特色について、中国大陆・朝鮮半島との関係などに着目して理解し、考察する。

2 学 期	7	第3章 律令国家の形成 《定期試験》	1. 律令国家への道 2. 平城京の時代 3. 律令国家の文化 4. 律令国家の変容	・ 隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響に着目して、東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の成立過程などを理解し、考察する。 ・ 平城京における大宝律令・養老律令による律令体制の整備について、遣唐使の派遣や地方社会との関わりなどに着目して理解し、考察する。 ・ 隋・唐など中国王朝との関係と文化への影響などに着目して、律令体制の形成と密接に関連する仏教文化の特色を理解し、考察する。 ・ 東アジアとの関係の変化や社会の変化と文化との関係などに着目して、平安遷都前後の諸政策や平安初期の文化の変容を理解し、考察する。
	9			
	10	第4章 貴族政治の展開 《定期試験》	1. 摂関政治 2. 国風文化 3. 地方政治の展開と武士	・ 藤原北家が権力を掌握していく過程を資料から読み取り、律令体制の変容の観点から摂関政治を理解し、考察する。 ・ 大陸からの文物の定着を前提として、平安時代にはより日本の風土にあった文化が形成されたことを理解し、考察する。 ・ 地方の諸勢力の成長と影響などに着目して、律令制度の実態や地方における開発、治安の維持、荘園の発達などについて、その特色や変容を理解、考察する。
	11	第5章 院政と武士の躍進	1. 院政のはじまり 2. 院政と平氏政権	・ 貴族政治や土地制度の変容などをもとに、諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解し、考察する。 ・ 平氏政権の台頭とその背景、宋との交易などについて、諸資料から様々な情報を読み取り、武士の政治進出について理解し、考察する。
		●歴史資料と中世の展望	1. 絵画から中世社会を探る	・ 『年中行事絵巻』『一遍上人絵伝』『洛中洛外図屏風』を比較して、様々な情報を適切かつ効果的に調べてまとめる。
	12	第6章 武家政権の成立 《定期試験》	1. 鎌倉幕府の成立 2. 武士の社会 3. モンゴル襲来と幕府の衰退 4. 鎌倉文化	・ 諸資料から情報を読み取り、源平争乱から鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立などについて理解し、考察する。 ・ 承久の乱が幕府と朝廷との関係に与えた影響について、諸資料から適切に情報を読み取り、理解、考察する。 ・ 宋・元などユーラシアとの交流に着目して、モンゴル襲来の国際的な背景や国内政治への影響について理解し、考察する。 ・ 公武関係の変化やユーラシアとの交流などに着目し、鎌倉時代の宗教や文化の特徴について、諸資料から情報を収集して読み取る技能を身につける。
	1	第7章 武家社会の成長	1. 室町幕府の成立 2. 幕府の衰退と庶民の台頭 3. 室町文化 4. 戦国大名の登場	・ 鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球王国の成立などについて、諸資料から情報を収集して理解し、考察する。 ・ 諸産業や流通、地域経済が成長したことに着目し、諸資料から情報を読み取り、庶民が台頭して村などの自治的な単位が成立したことを理解し、考察する。 ・ 経済の進展や各地の都市や村の発達、東アジアとの交流などに着目して、室町時代における多様な文化の形成や融合について理解し、考察する。 ・ 守護大名と戦国大名の権力の相違点などについて諸資料から情報を読み取り、戦国時代の大名による領国経営の特徴を理解し、考察する。
	2	第8章 近世の幕開け	1. 織豊政権 2. 桃山文化	・ 村落や都市の支配の変化、アジアやヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や対外関係について理解し、考察する。 ・ 桃山文化が幅広い国際性をもちつつ、生活文化の中にとけ込んでいったことについて、諸資料から情報を読み取り、理解し、考察する。
		●歴史資料と近世の展望	1. 生類憐みの令からみる江戸時代の社会の変化	・ 法令の内容を適切に読み取り、生類憐みの令が出された当時の社会の雰囲気について、文芸作品との関わりも踏まえて理解し、考察する。
	3	第9章 幕藩体制の成立と展開 《定期試験》	1. 幕藩体制の成立 2. 幕藩社会の構造 3. 幕政の安定 4. 経済の発展 5. 元禄文化	・ 織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化などに着目して、諸資料をもとに江戸幕府の法や制度の確立や対外政策の推移について理解、考察する。 ・ 諸資料から適切に情報を読み取り、江戸時代の社会の構造を理解し、考察する。 ・ 諸資料から文治政治への転換から元禄時代・正徳期に至る政治の推移について理解し、考察する。 ・ 産業の発達、商品経済・流通の発達、三都に関わる諸資料から情報を読み取り、技術の向上と開発の進展について理解し、考察する。 ・ 都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、17世紀の文化の特徴などについて、諸資料から情報を読み取る技能を身につける。
3 学 期				